



幹 事 連 絡

平成26年8月1日

午後 1時 45分

清水海上保安部
(問合せ先)
交通課長 柏木 秀美
電 話：054-355-0225

広 報

花火大会観覧船の事故について

花火大会をプレジャーボート等で観覧し事故を起こすケースが、全国で多く発生しています。

7月19日には横浜港で防波堤に衝突、3人が軽傷を負い、1名が海中に投げ出され巡視艇が救助しました。

7月26日には広島県の花火大会で、連続5件の衝突・乗揚海難が発生しました（何れも他の場所で）。

最近静岡県内での観覧船の事故は発生していませんが、8月中にも県内各地で海上花火大会が開催されることから、主催者等に対し次のとおり再度警戒を呼び掛けています。

事故は、観覧後の帰航時に多く発生しています。

主なものとして、岸壁や養殖施設への衝突や乗揚げ、先を争っての船同士の衝突です。

このような事故を防ぐには、

- ・見張りの徹底、安全な速力での航行
※花火終了後の暗くなった海域での航行
- ・航行ルートにおける危険箇所の把握
- ・発航前点検
- ・飲酒運転禁止

などを厳守する必要があります。

また、夜間航行に不慣れな方は、極力、船舶による観覧を自粛してください。

参考：全国の花火大会に関連した船の事故は、2013年までの5年間に87件あり、うちプレジャーボートが77件と大半を占めています。